

総合評価一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号。以下「政令」という。）第 167 条の 6 第 1 項の規定に基づき、次のとおり公告する。

平成 19 年 11 月 30 日

鳥取県営病院事業管理者 坂 出 徹

1 調達内容

(1) 調達案件及び数量

鳥取県立厚生病院物品調達管理業務 一式

(2) 調達案件の仕様

物品調達管理業務基本仕様書による。

(3) 履行期間

契約の日から平成 23 年 3 月 31 日まで

(4) 履行場所

倉吉市東昭和町 150 鳥取県立厚生病院

(5) 入札方法

ア 落札者の決定は、総合評価一般競争入札により行うので、入札者は、5 の(2)に定める書類等を別に提出しなければならない。

イ 入札金額は(1)に掲げる調達案件に係る必要な機器等の金額を合計した額を記載すること。

ウ 契約に当たっては、入札書に記載された金額（以下「入札価格」という。）に当該金額の 5 パーセントに相当する額を加算した金額（1 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）をもって契約金額とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額（以下「入札見積金額」という。）の 105 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

2 入札参加資格

この競争入札に参加することができる者は、単独企業又は共同企業体とし、次に掲げる要件のすべてを満たす者とする。

(1) 単独企業に関する資格及び条件

ア 政令第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。

イ 平成 19 年 11 月 30 日（金）から入札書の提出の日までの間のいずれの日においても、鳥取県指名競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成 7 年 7 月 17 日付第 157 号）第 3 条第 1 項の規定による指名停止措置を受けていないこと。

ウ 平成 19 年 11 月 30 日（金）から入札書の提出の日までの間のいずれの日においても、会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の規定による更生手続開始の申立てが行われた者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の規定による再生手続開始の申立てが行われた者でないこと。

エ 入札書の提出の日までの間に、平成 18 年鳥取県告示第 841 号（物品等の売買、修理等及び役務の提供に係る調達契約の競争入札参加者の資格審査の申請手続等について）に基づく競争入札参加資格（以下「競争入札参加資格」という。）を有するとともに、その資格区分が医療・理化学機器類の医療機器に登録されている者であること。なお、この競争入札に参加を希望する者であって、当該資格区分に登録されていない者は、競争入札参加資格の審査の書類申請を平成 19 年 12 月 12 日（水）午後 4 時までに 4 の(2)の場所に提出すること。

オ 平成 14 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日までの間に、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 7 条第 2 項第 5 号に規定する一般病床 300 床以上の病院から受注した物品調達管理業務（以下「同種業務」という。）を受注し、完遂した実績を有すること。

カ この競争入札に係る共同企業体の構成員でないこと。

(2) 共同企業体に関する資格及び条件

- ア 各構成員が(1)のアからエまでのすべてに該当すること。
- イ 構成員のうち、いずれかの者が(1)のオに該当すること。
- ウ 共同企業体が、2以上の者により自主的に結成されたものであること。
- エ 構成員の出資比率が異なる場合は、出資比率の最も大きい者が代表者であること。ただし、出資比率が同じである場合には、いずれかの者が代表者となること。
- オ 各構成員が、この競争入札において他の共同企業体の構成員でないこと。
- カ 次の事項を定めた共同企業体結成に係る協定を締結していること。

- (ア) 目的
- (イ) 共同企業体の名称
- (ウ) 構成員の名称及び所在地
- (エ) 代表者の名称
- (オ) 代表者の権限
- (カ) 構成員の出資比率
- (キ) 構成員の責任
- (ク) 業務履行中における構成員の脱退に対する措置
- (ケ) 業務履行中における構成員の破産又は解散に対する措置
- (コ) 解散後の瑕疵担保責任
- (サ) その他必要な事項

3 契約担当部局

鳥取県立厚生病院事務局管財課

4 入札手続等

(1) 入札書の提出先及び問合せ先

〒682-0804 倉吉市東昭和町 150

鳥取県立厚生病院医療情報管理室

電話 0858-22-8181 (内線 3550)

(2) 競争入札参加資格審査の申請書類に関する問合せ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220

鳥取県総務部庶務集中局集中業務課物品調達担当

電話 0857-26-7431、7432 又は 7433

(3) 入札説明書等の交付

入札説明書その他の資料は、平成 19 年 11 月 30 日 (金) から同年 12 月 10 日 (月) までの間にインターネットのホームページ (<http://www.pref.tottori.jp/kouseibyoun>) から入手するものとする。ただし、これによりがたい者には、次により直接交付するものとする。

なお、郵送による交付を希望する者は、240 円分の切手をはり付けたあて先明記の返信用封筒を同封し、交付期間中に(1)の場所へ請求すること。

ア 交付期間及び時間

平成 19 年 11 月 30 日 (金) から同年 12 月 10 日 (月) までの日 (日曜日及び土曜日を除く。) の午前 9 時から午後 5 時まで

イ 交付場所

(1)に同じ。

(4) 郵便等による入札

可とする。ただし、書留郵便(親展扱いとすること。)又は民間事業者による信書の送達に関する法律(平成 14 年法律第 99 号)第 2 条第 6 項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第 9 項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第 2 項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるもの(親展扱いとすること。)により、(1)の場所に送付すること。

(5) 入札及び開札の日時及び場所

平成20年1月10日(木)午前11時(ただし、郵便等による入札書の受領期限は、同日午前10時とする。)
鳥取県立厚生病院大会議室(外来・中央診療棟5階)

5 入札者に要求される事項

- (1) 入札書は、件名及び入札者名を記入し、「入札書」と明記した封筒に入れ、密封して提出しなければならない。
- (2) この競争入札に参加を希望する者は、参加表明書及び2の(1)のオの実績に係る書類を、4の(1)の場所に平成19年12月11日(火)午後5時までに提出しなければならない。また、入札説明書に示す入札関係書類を、4の(1)の場所に平成19年12月21日(金)午後5時までに提出しなければならない。
- (3) 入札者は、(2)の書類に関して説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

6 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

本件入札に参加する者は、入札保証金として入札見積金額の100分の5以上の金額を入札書に添えて提出しなければならない。この場合において、鳥取県病院局財務規程(平成7年鳥取県病院局管理規程第12号。以下「財務規程」という。)第69条に定める担保の提供をもって入札保証金の提出に代えることができる。

なお、次のいずれかに該当する場合には、財務規程第70条の規定によりその例によることとされる鳥取県物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規則(平成7年鳥取県規則第106号。以下「調達手続特例規則」という。)第13条の規定により、入札保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

ア 保険会社との間で鳥取県を被保険者とする入札保証保険契約を締結したとき。

イ 競争入札参加資格を有し、鳥取県競争入札参加資格審査事務取扱要綱(昭和40年1月30日付発出第36号)第5条第1項に規定する競争入札参加資格者名簿に登録された者で、落札後契約を締結しないおそれがないと認められるとき。

(2) 契約保証金

落札者は、契約保証金として契約金額の100分の10以上の金額を納付しなければならない。この場合において、財務規程第69条に定める担保の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。

なお、調達手続特例規則第17条の規定により、契約保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

7 落札者の決定方法

(1) この公告に示した業務を完遂できると判断した入札者であって、財務規程第70条の規定によりその例によることとされる鳥取県会計規則(昭和39年鳥取県規則第11号)第127条の規定に基づいて作成された予定価格の範囲内において入札を行った者であること。

(2) 提案書の内容について、別記「落札者決定基準」に示す各項目の加点の上限の範囲内で提案内容の評価に応じて加点する。

(3) 入札価格については、次の式により換算し、入札価格に対する点数(以下「価格点」という。)を与える。

なお、価格点の上限は、100点とする。

価格点=100点×(1-入札価格×1.05/予定価格)

(4) (2)及び(3)により算出された加点及び価格点の合計点数が最も高い者を落札者とする。

(5) 加点及び価格点の合計点数が最も高い者が2者以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定するものとする。なお、提案書の評価に時間を要するため、入札者はあらかじめ開札時にくじを引いておくものとする。この場合において、入札者のうち開札に立ち会わない者又はくじを引かない者があるときは、これに代えて当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

8 その他

(1) 契約手続において使用する言語、通貨及び時刻

日本語、日本国通貨及び日本標準時

(2) 入札の無効

2の入札参加資格のない者のした入札、入札者に求められる義務を履行しなかった者のした入札及び財務

規程、この公告又は入札説明書に違反した入札は、無効とする。

(3) 契約書作成の要否

要

(4) 手続における交渉の有無

無

(5) その他

詳細は、入札説明書による。

9 Summary

(1) Nature and quantity of the products to be purchased :A system of supply processing and distribution

(2) Time-limit for the submission of documents for the qualification confirmation : 5:00 PM, 11 December, 2007

(3) Time-limit for the submission of documents for the tender : 5:00 PM, 21 December, 2007

(4) Time-limit for the submission of tenders : 11:00 AM, 10, January, 2008

Time-limit for the submission of tenders by registered mail : 10:00 AM, 10, January, 2008

(5) Please contact : Medical Information Management Division, Administration Department, Tottori Prefectural Kousei Hospital, 150 Higashishowa-machi, Kurayoshi-shi, Tottori 682-0804 Japan
TEL 0858-22-8181 ex. 3550

評価の内容（考え方）	提案を求める内容	主な評価基準	加点の上限
1 準備業務	(1) 業務内容 (2) スケジュール及び体制 (3) 病院所有在庫品との切り替え	・準備業務が具体的に明示されていること。 ・妥当なスケジュールが明示されており、適切な人員が確保され、業務が確実に遂行できること。 ・病院業務に支障がなく、利便性の優れた内容であること。	100
2 調達業務	(1) スケジュール及び体制 (2) 持込品の対応の体制 (3) 定数管理対象物品の範囲 (4) 同等品・類似品等有用な提案方法 (5) 新規採用物品の単価及び締結済物品の単価を変更する場合の単価算出方法 (6) 休日、夜間及び緊急時の体制 (7) 年末年始及び休日が3日以上継続する場合のスケジュール及び体制	・具体的なスケジュールが明示されており、適切な人員が確保され、業務が確実に遂行できること。 ・使用頻度が低い物品でも定数管理対象物品となっていること。 ・同等品・類似品等の提案方法が具体的で実行可能な内容となっていること。 ・単価の算出方法が合理的な算出方法となっており、コスト削減効果があること。（条件：現行以上の値引率）	300
3 納品検収業務	スケジュール及び体制	・具体的なスケジュールが明示されており、適切な人員が確保され、業務が確実に遂行できること。	50
4 搬送業務	(1) スケジュール及び体制 (2) 各部署における物品の補充方法 (3) 術式・処置別キットの作成	・具体的なスケジュールが明示されており、適切な人員が確保され、業務が確実に遂行できること。 ・病院業務に支障がなく、利便性の優れた内容であること。 平日における緊急時の臨時対応が利便性に優れていること。 ・使用内容の検証が可能であること。	150
5 在庫管理業務	(1) 院内倉庫の在庫品 (2) 各部署の定数基準等 (3) 有効期限チェック方法 (4) 委託業務期間満了時における預託在庫品	・在庫物品の範囲、適正在庫の考え方が明示され、病院にとって利便性に優れていること。 ・合理的な有効期限チェック方法が明示されていること。 ・病院業務に支障がなく利便性の優れた内容であること。	100
6 消費管理業務	(1) 請求漏れ防止、差異原因追求方法 (2) 改善提案の具体例	・方法が具体的で実行可能な内容となっていること。 ・改善提案の内容が病院にとって有効であり、合理的な方法であること。	100
7 システム管理業務	システム管理体制	・適切な人員が確保され、業務が確実に遂行できること。	50
8 棚卸業務	スケジュール及び体制	・スケジュールが明示されており、適切な人員が確保され、業務が確実に遂行できること。	50
9 クレーム処理業務	不具合発生時対応	・適切な人員が確保されていること。	50
10 業務遂行体制、稼働実績及び業務に当たっての病院職員の意見反映に対する考え方	(1) 業務全般の院内及び院外における体制 (2) 業務受託実績 (3) 管理責任者の経歴 (4) 代行業者の実績 (5) 大事故発生時や災害時における物品供給の体制 (6) 病院との協議、意見交換等	・業務に係る人員が確保されており業務が確実に遂行できること。 ・総括責任者及び業務管理責任者が同種業務の技能を有していること。	100
小計			1050
11 購入実績に対する金額	購入実績に対する金額	・より安価であること。（総額の上限201,782,000円） 総額の上限より1パーセント金額が下がるとに20点づつ加算する。	設けない